

『真光寺川 里親の会』通信

1月号 一通算第130号

2012年1月8日

新しい年2012を迎えて—新たな気持ちでスタートしよう！

明

けましておめでとうございます！

東日本大震災そして原発事故まことに多事多難な年がようやく暮れ、新しい年を迎えることができました。私どもは、災害の恐ろしさと共に「絆」の大切さを再認識した年としていつまでも忘れることはできないでしょう。

「真光寺川を清流にする会」は、2000年にスタートしました。干支でいうと辰年でした。今年も辰年、あれから12年、十二支を一巡りして新たなスタート台に立ったこととなります。辰は「竜」、雲を呼び大空を飛翔する空想の動物です。私どももその勇壮な気概にあやかり未来を切り拓いていきたいものです。

2011年の回顧

①「協働」の進展した年でした

1月：市民協働フェスティバル「まちカフェ」のシンポジウムで「真光寺川を清流にする会」の活動を発表しました

5月：水質の悪化を訴える「市長への手紙」を送付し、6月回答を得ました

6月：いわ瀬議員が、市議会で「真光寺川の環境改善」につき質問されました

9月：広袴公園の一部浚渫が実施されました。その効果が流れがきれいになりました

10月：南東建と環境改善につき打合せ、議事録を作成し具体策につき確認しました。吉原都議の支援を得ることができました。

②復活した「真光寺川まつり」

前年はコイの大量死、水質の悪化などで残念ながら中止せざるをえませんでした。水質も回復し開催に踏み切ることができました。ただ、事前のPR不足もあり参加者は例年に比し少ない状況でした。

③恒例の散策

1月9日「片平川散策」

快晴微風、片平川ぞいに散策。「栗平の湯」で新年を祝い乾杯！

2月13日「めだかの学校散策」

絶好の散策日和に恵まれ「めだかの公園」「めだかの学校」

「小田原城社」を散策しました。

④子供たちとの交流

鶴三小、和光鶴小、麻生総合高校の学習をお手伝いしました。

また、下堰親水の近くに開設された「みどりの森保育園」との間に新しい交流が始まりました。

⑤頻発した不法投棄

9月、下堰親水近辺で数度にわたって大量のゴミの不法投棄がありました。町田警察署とも連絡を取り、一時は監視カメラの設置等につき相談しました。10月になり見られなくなりホッとしました。



9月、広袴調整池で浚渫が行われる



復活した真光寺川まつり

2012年の課題と展望

今年も引き続き清掃作業をはじめ環境改善の地道な努力をしてまいりたいと思います

また、「真光寺川まつり2012」は事前の準備を整えて開催したいものです

十二年の歩みはわれわれの誇りです。然し会員の高齢化は否めません。今年こそ力を併せて会の活性化と若返りをはかっていきたいものです。

平成24年元旦

真光寺川を清流にする会・真光寺川里親の会・会長 山口拓郎

町田市環境マスタープランのパブリックコメントへ応募

町田市は環境政策の策定に当たり環境マスタープランに基づき毎年の政策を策定してきましたが、2002年度に策定した第一次環境マスタープランが今年度で終了するため、2012年度から今後10年間にわたる新しい環境マスタープランの検討を行ってきました。このたび『第二次町田市環境マスタープラン』案がまとまり、10月21日から市民に意見公募（パブリックコメント）を行いました。

『第二次町田市環境マスタープラン』（案）では町田市の環境像を「水とみどりとにぎわいの調和した環境都市・まちだ」と設定し、河川については水辺で安心して水遊びができるような河川・水環境を目指して、良好な水質の確保に努め、水辺の魅力を発信していくこと、また主要3河川（鶴見川、境川、恩田川）の水質検査や生物相調査を実施することなどを掲げています。

清流にする会ではこのマスタープランが今後の真光寺川の水質や環境改善にもかかわることから、会員間で協議しパブリックコメントに応募することにしました。私たちが表明した意見は次の通りです。

- ① 鶴見川水系では長期計画として関係行政機関が鶴見川水系の全川（真光寺川も含めて）で環境基準値の達成を最低限として、川の中で水遊びができる基準として「ふれあい等級における目標水質」（例えばC-BODで3未満、透視度80以上等）を目標として取り組んでいます。マスタープランでは環境基準値の達成のみを目標としていますが、鶴見川水系の目標と整合性を合わせ川の中で水遊びができる水質基準をめざして取り組むよう要請しました。
- ② 親水施設（真光寺川の下堰親水など）は市民が水辺に親しむための施設です。親水施設では特に安心して水遊びができる水質基準の維持と環境の整備を要請しました。
- ③ 水質を検査する川に1級河川である真光寺川も加えるよう要請しました。
- ④ 鶴見川水系では、真光寺川のように上流端までの河川管理者は東京都、その流域の水質管理は町田市と管理が重なっている場合があります。水質改善の取り組みに当たっては複数の行政機関が役割分担を明確にし連携して取り組むよう要請しました。

町田市は2月上旬に寄せられたパブリックコメントに対して市の考え方を公表する予定です。市の対応を注視するとともに、今後とも粘り強く真光寺川の改善に取り組んでいきます。（文：黒田 健夫）

「川の風景」 カワセミの目撃情報をいただきました。「12月31日昼頃、下堰親水のめだかポストを開けていたらチャボン（ジャボン）と水音がします。何かな？と見ると、カワセミが飛び込んでいます。岸壁のフェンス下辺りから飛び込み、魚を捕らえています。5回に4回は小魚を食べています。」・・・情報がありましたらお寄せ下さい。

『めだかポスト』

12月は能ヶ谷6丁目の岡村実様、鶴川4丁目の芦田徳明様、広袴3丁目石川由紀枝様から郵便振替でご寄付をいただいたほか、ポストと一木会からのご寄付を合算して8,108円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

12月の清掃報告

11日は前日の寒さとは打って変わり小春日和に恵まれ、総勢11名が参加して清掃を行いました。合計20袋分のごみを回収。集合場所の下堰親水では明るい川面に小魚の大群が何重にも列をなして泳いでいました。またこの日権現橋と能ヶ谷橋の間で5～60センチ級のナマズが悠々と泳いでいたとのうれしい報告もありました。

私たちの行動基準

1. 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
2. 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
3. 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

2月12日（日）図師・小野路歴史環境保全地域など里山を散策します

2月の例会は町田市が保全に取り組んでいる図師・小野路歴史環境保全地域や付近の奈良ばい谷戸など緑の残る北部丘陵の里山を散策します。車に分乗して小山田緑地まで行き、そこから奈良ばい谷戸で保全に取り組んでいる会員の案内で、里山を2時間程かけてゆっくり散策します。帰りは鶴川まで車で戻りレストランで昼食をとり解散の予定（2時頃）です。

集合：2月12日（日）9時：30分（厳守）「能ヶ谷6丁目 おたる寿し」（権現橋近く）の駐車場
一般の方々のご参加を歓迎いたします。一緒に散策しませんか。

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp